

vol.  
608

# Plus ultra!!



公益社団法人郡山青年会議所 2023年度スローガン

## Challenge a new era, and change the future!

～新しい時代に挑戦しよう、私たちが夢描く最高の未来へ～



### 新春のご挨拶

二〇二三年度 第六十三代理事長

芝田 銀平

明けましておめでとうございます。新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、新年の幕開けを健やかに迎えることと、心よりお慶び申し上げます。

平素は私も公益社団法人郡山青年会議所に対しまして、格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

昨年は、産学協働で郡山の地域資源を見つめ直し新たな価値を創造することを目的とした「魅力発見！こおりやま」や、小・中学生の思いやりや助け合いの精神の育成と防災意識向上を目的とした「防災体験キッズワークショップ」や「体感型防災アトラクション」など、各事業に対して皆様よりご支援ご協力を頂戴いたしましたことに対し、現役会員を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

本年度は「Challenge a new era, and change the future!」新しい時代に挑戦しよう、私たちが夢描く最高の未来へ」のスローガンのもと、会員一人ひとりが夢をもち、私たちが夢描く最高の未来のためにメンバー一丸となり、全力で運動を展開してまいります。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は私たちの社会生活に大きな変化をもたらし、変化した社会生活は決して元に戻ることはありません。コロナ禍により大きく変化した新しい時代において私たちは多くの市民とともに新しい流れを創る変革の時を迎えています。私たちはこのまちを想うあらゆるパートナーと協働して子どもたちが夢や希望を描ける持続可能な地域を創造してまいります。どうか皆様方の更なるご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとりまして希望多き一年となりますことを心からご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

## Challenge a new era, and change the future!

～新しい時代に挑戦しよう、私たちが夢描く最高の未来へ～

### スローガン

公益社団法人郡山青年会議所  
二〇二三年度 理事長所信  
第六十三代理事長 芝田 銀平

### 【はじめに】

新型コロナウイルス感染症の影響により社会生活は大きく変化し、他者との距離を取り、対面でのコミュニケーションに多くの制限が必要になることを私たちは身をもって体験しました。社会に目を向けてもあらゆる産業で大きなダメージを負い、特にサービス業や飲食業、観光業においては壊滅的な被害が発生していることは周知のとおりです。また、これらの業種を中心として、社会全体がコロナ禍以前の経済状況に戻るには相当な時間を要すると言われております。様々な業種や年齢の会員が集う多様性のある私たちは、コロナ禍以降の現在の状況をネガティブに考えるのではなく、急速に変化する時代だからこそ力強く社会を牽引する組織へと進化しなければなりません。

郡山青年会議所はこれまで他の地域や産官学民間を繋ぐ地域の懸け橋として長い年月を積み重ね、その運動は常に未知の可能性を切り拓いてきました。時代の先駆者たる私たちは、アフターコロナという急速に変化する時代へ向けて、組織として進化し続けることが重要です。そして、組織が進化し続けるためには私たち個人も組織から提供される機会を最大限に活用することで自己成長を実現し、JAYCEEとしての誇りを胸に刻み、人としても組織としても高みを目指さなければなりません。今、私たちは青年経済人として明るい豊かな社会へ向けて躍進の一步を踏み出します。

### 【持続可能な組織へ】

人口減少や時代の変遷、価値観の多様化など会員減少の理由は様々ですが、郡山青年会議所メンバーは年々減少の一途にあります。多くの企業で理念経営が注目されるようになり、組織全体において理念や目的の共有が重要視される現在においては、組織



全体の理念や目的を共有したうえで常に変化する社会の価値観に私たちがアジャストしていくことが重要です。すなわち私たちの運動が郡山青年会議所の理念や目的に合致しているのかをメンバー一人ひとりが改めて考え、私たちの理想とする明るい豊かな社会を実現するために、私たちの強みと弱みを再認識する必要があります。私たちの強みは何か、変えなければならぬ弱みは何か。アフターコロナという新しい時代へ向けて持続可能な組織であり続けるために会員拡大活動で継続して行うとともに、組織における今までの常識や慣習を疑い見つめ直す必要があるのです。

**「想いが伝わる発信」**

インターネットやSNSといった情報発信ツールの進化によって、自分の考えや価値観に近い情報をAIが自動的にピックアップしてくれることが可能になりました。受け取り手にとって有益な情報と判断されなければ現代社会の膨大な情報のなかに埋もれてしまう一方で、「運動・活動を行うことで誰にどのような形で何を届けるか」といった理念や目的を常に重要視してきた私たちにとってはチャンスのある時代でもあるのです。私たちは単に運動・活動内容を発信するのではなく、「どのような想いでどのようなメンバーが運動・活動を行うのか」、「この運動・活動を通してどのようにこのまちを変えたいのか」等より深化した情報を多くの人々に伝える共感型の情報発信を行っていきます。そして、同じ理念や目的を持つパートナーとお互いの運動活動を相互発信し、私たちの想いを人々に届け、共感していただくことでさらに多くの人々が有益な情報として伝播し、私たちの想いはより大きな共感の輪となり広がっていきます。

**「持続可能な郡山に向かおう」**

二〇二〇年当時の内閣総理大臣所信表明演説において、「二〇五〇年に二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする」と宣言されたことを

受け、脱炭素社会へ向けた流れは大きな潮流となつて地方へと広がりを見せています。そういった流れのなかで郡山に目を向けますと、郡山は東北有数の経済都市である。一方、少し郊外に出れば満天の星空の下蜚が飛び交う豊かな自然が残っています。私たちは未だ豊かな自然が残るこのまちを守り育てるためにこのまちに住まう産官学民のあらゆる組織と協働して、脱炭素社会へと歩みを進めていかなければなりません。私たちは脱炭素社会への第一歩を踏み出すためにも、これまで培ってきた地域間のネットワークを活用して市民や企業、地域社会を牽引する運動を積極的に行い、このまちを持続可能な地域へと導いていきます。

**「夢や希望を描ける未来へ」**

地域の宝とは何でしょうか。人によってその答えは様々だと思えますが、いつの時代もあり、子どもたちの活気が地域を守り育てる明るい希望であることに疑いの余地はありません。しかし、新型コロナウイルス感染症の蔓延によって子どもたちの活気を生み出す機会は激減してしまいました。特にスポーツ等での接触が極端に制限されてしまったことで、仲間と協力して目標に向かい挑戦できるような集団活動の場が極端に減り、また健康面においても基礎体力の低下といった不安を抱えています。これから迎える新しい時代に求められていることは、あらゆるパートナーと協働し、子どもたちがこの数年で失ってしまった、仲間たちとともに挑戦できる場を創造することです。仲間との絆を深め、心身ともに大きく自己成長を果たした自信をもってもらうことで、子どもたちは自身の未来に新たな可能性を見出し、夢や希望を描くことができます。子どもたちが夢や希望を描ける持続可能な地域を創っていくことこそが、私たちの使命なのです。

**「より必要とされる組織のために」**

郡山青年会議所は二〇二三年に公益法人

格を取得し、十年間という長きに亘り公益社団法人郡山青年会議所として歩みを進めてまいりました。青年会議所の三信条であるアウトプットたる「奉仕」とインプットたる「修練」、それを支える「友情」は三位一体であり、そのどれか一つだけでもバランスが崩れると機能しません。大きく社会活動が変化したコロナ禍以降に入会したメンバーが半数を占め、まちの問題が多岐に渡りより複雑化している現在においては、インプットが追いつかないままアウトプットを行っている状態になっています。そのためアウトプットとインプットのバランスが大きく崩れたまま運動・活動を行うことを余儀なくされているのです。私たちは大きく崩れたこのバランスを取り戻すために、より自己成長が可能となる組織変革を行っていきます。急速に変化するアフターコロナの時代だからこそ、メンバー一人ひとりが研鑽を積むことで問題意識を持つアクティブシチズンへと成長し、より地域に必要とされる組織へと進化する必要があります。

**【結ぶ】**

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は私たちの社会生活にも大きな変化をもたらし、変化した社会生活は決して元に戻ることはありません。コロナ禍により大きく変化した新しい時代において私たち青年は、かつて先輩方が荒廃した戦後の日本で新日本の再建は我々青年の仕事である」と立ち上がったように、新しい流れを創る変革の時を迎えています。私たちはその流れを多くの人々に共感してもらえよう運動を起し、より大きな潮流としていかなければなりません。子どもたちが夢や希望を描ける持続可能な郡山を創造する。美しい郡山の星空や田園風景をいつまでも守り続ける。責任世代として私たちは地域社会を牽引する存在となり、郡山を守り続けていきます。私たちが夢描く最高の未来へ向かって、ともに新しい時代に挑戦しましょう！

**郡山青年会議所OB会**

**「令和五年度定時総会」**

一月四日、ホテルハマツにて、郡山青年会議所OB会、令和五年度定時総会が開催された。定時総会では、令和四年度事業および決算報告の件、令和五年度事業計画および事業予算ならびに役員選任の件が全会一致で可決承認された。（公社）郡山青年会議所理事長芝田銀平君による挨拶の後、（公社）郡山青年会議所の役員並びに向向者、令和五年度新入会員の紹介が行われ、終始和やかに会が進行した。

**第一号議案**

令和四年度事業報告承認に関する件

**第二号議案**

令和四年度決算報告承認に関する件

**監査報告**

**第三号議案**

令和五年度事業計画承認に関する件

**第四号議案**

令和五年度収支予算承認に関する件

**第五号議案**

令和五年度役員選任に関する件







福島県知事  
内堀 雅雄 様

### ふくしまプライドで逆境を乗り越え、 ふくしまを『希望の地』へ

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。  
私は、去る十月の知事選挙におきまして、県民の皆様への御支持を頂き、引き続き、県政を担わせていただくこととなりました。皆様からの御期待をしっかりと胸に刻み、福島市の未来を切り拓くため、全力で挑戦を続けてまいります。

福島県は、未曾有の複合災害からの復興はもとより、急激な人口減少、度重なる自然災害からの復旧、新型コロナウイルスの感染拡大防止、さらには原油価格・物価高騰への対応など、幾多の困難な課題を抱えております。

そうした中で、挑戦を絶えず「シンカ(進化・深化・新化)」させながら、様々な逆境を乗り越えることにより、「ふくしまプライド」を更に光り輝かせていくことが重要と考えております。

まず、震災と原発事故からの復興・再生につきましては、復興の状況に応じた被災者の生活再建や事業・生業の再生、帰還環境の整備などに取り組みとともに、廃炉と汚染水・処理水対策や、風評の払拭と風化の防止、移住・定住の促進など、様々な課題に全庁一丸となって取り組んでまいります。

次に、人口減少対策につきましては、結婚から子育てまでの切れ目のない支援や、「福島ならではの」教育を推進していくほか、食・運動・社会参加を柱とする健康づくりを力を入れ、全国に誇れる健康長寿県を目指してまいります。

また、農林水産業や商工業、観光業など、既存産業の振興はもとより、新産業の創出・集積等を通じて、若者の県内定着・還流や魅力ある雇用の場づくりなどに取り組んでまいります。

さらに、新型コロナウイルス感染症につきましては、引き続き、県民の皆様に対し感染防止対策の徹底をお願いするとともに、国や市町村、関係団体等と緊密に連携しながら、感染拡大の防止と確実な医療の提供に取り組んでまいります。加えて、物価高騰等に対しては、需要喚起策や金融支援などにより、生活の安定と経済の維持・再生を図ってまいります。

これらの取組を含め、県の総合計画に掲げた目標を一つ一つ着実に実現させながら、福島市の定義を「被災の地」から「希望の地」、さらには「復興の地」へと変えるべく、全力で福島市の未来を切り拓いてまいりますので、今後とも、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。新年の御挨拶といたします。



郡山市長  
品川 萬里 様

### 子どもを安心して産み育てやすい 「ベビーファーストのまち」を目指して

新年おめでとうございます。  
郡山青年会議所の皆様には、清々しい令和5年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、「Just keep going」前進あるのみ！自ら行動しよう、愛と笑顔が溢れる郡山の未来のために「スローガンのもと、会員皆様方の創意工夫により各種事業を展開され、明るく豊かな地域社会づくりに積極的に取り組んでいただきましたことに、心から敬意と感謝の意を表します。

さて、我が国を取り巻く社会経済状況は、長引くコロナ禍の中、国際情勢の不安や原油高騰をはじめとする物価高、更には人口構造変化の急速な進展など、困難な事態が次々と発生しております。

このような中、我が国が国際競争力を維持していくためには、次代を担う子どもたちには一人二役、一人三役の活躍が不可欠です。

本市におきましては、公益社団法人日本青年会議所の推進する「ベビーファースト運動」の趣旨に賛同し、市民・団体・事業所等の皆様との「公民協奏」により、地域ぐるみで子どもを安心して産み育てやすいまちづくりを推進しているところであります。

来年二〇二四年は、市制施行百周年の記念すべき節目の年となります。

安積開拓の理念「開物成務」のもと、自治力、並びに生涯学習の精神により、皆様は自由に、そして存分に活動でき、次の百年の礎となる「誰一人取り残されない持続可能な社会」の実現を目指してまいります。

芝田銀平理事長をはじめ会員皆様方の御活躍を心からお祈り申し上げますとともに、本年も市政への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の御挨拶といたします。



郡山商工会議所 会頭  
滝田 康雄 様

### 夢と希望があふれる郡山に向けて

新年あけましておめでとうございます。  
皆様におかれましては、希望に満ち溢れた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

郡山青年会議所の皆様には、「奉仕」「修練」「友情」の三信条のもと、諸先輩方が築き上げた伝統を引き継がれ、明るく豊かな社会の実現を目指し、進取の精神に富む若者の視点で、スピード感のある多彩な事業を展開され、地域の活性化にご尽力されておりますことに心から御礼申し上げます。

さて、地域経済を取り巻く環境は、長期化するコロナ禍や原油・原材料の高騰、円安などの影響により厳しい状況であります。新型コロナウイルス感染症やサプライチェーンの強靱化に向けた取組み及び円安メリットを生かした輸出拡大が進められております。

郡山商工会議所といたしましては、事業者の多様な課題解決に向け、相談会やセミナー、イベントなど各種事業を積極的に展開してきたところであります。中でも、駅前で開催した「ビール祭」におきましては、郡山青年会議所の皆様の多大なるご支援とご協力を賜り、市民の皆様笑顔を取り戻すとともに、郡山の元気を県内外に発信することができました。あらためて御礼を申し上げます。

郡山青年会議所におかれましては、芝田理事長が掲げられたスローガン「新しい時代に挑戦しよう、私たちが夢描く最高の未来へ」のもと、若者らしく果敢に挑戦し、夢と希望あふれる持続可能な地域づくりの実現に向けて、邁進されますようご期待申し上げます。

結びに、貴青年会議所の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍とご健勝を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

# 2023 組織図および出向者紹介

●2023年度、9名の新人会員を加えて62名でのスタートとなります。よろしくお願いたします。

## 出向者

### 日本青年会議所

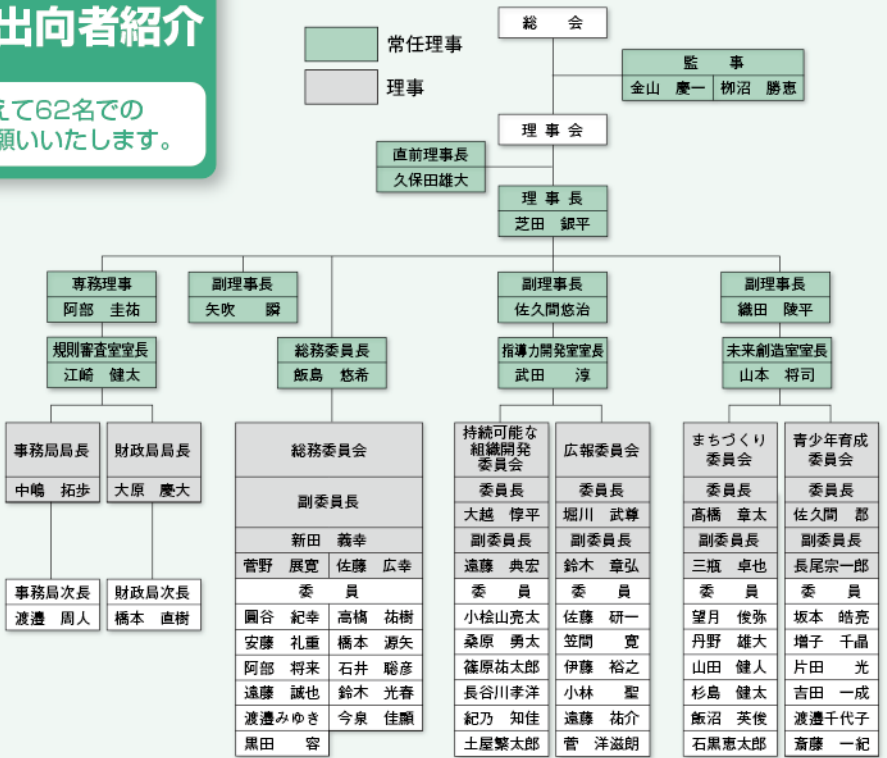
地球環境委員会	副委員長	久保田雄大
地球環境委員会	小幹事	土屋繁太郎
地球環境委員会	委員	菅 洋滋朗
財政審査会議	委員	橋本 直樹

### 東北地区協議会

広報ブランディング委員会	委員	武田 淳
--------------	----	------

### 福島ブロック協議会

顧問	柳沼 勝恵
県南エリア担当副会長	織田 陵平
組織連携推進委員会	委員 大原 慶大
アカデミー委員会	委員 高橋 祐樹
アカデミー委員会	委員 石黒恵太郎
福島の未来創造委員会	副委員長 望月 俊弥
ブロック大会実行委員会	委員 紀乃 知佳
総務広報委員会	委員 笠間 寛
総務広報委員会	委員 杉島 健太



NO.608号

●発行所事務局 福島県郡山市中町5-17 中町スペース3F 電話02493212289  
 ●発行責任者/理事長 芝田 銀平  
 ●編集責任者/広報渉外委員会委員長 堀川 武尊

※無断転載禁止

## 皆様のお声をお聞かせ下さい!!

私たちはこれまでに様々な広報誌を発刊してまいりました。今後、今まで以上にこの広報誌を盛り上げ、私たちの事業活動・活動を知っていただきたく存じます。そのために、今後私たちの運動・活動の参考とするべくアンケートを実施させていただきます。大変お手数なことかもしれませんが、アンケートの記入にご協力をしていただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

アンケート QRコード

## 新入会員紹介

えんどう せいや  
**遠藤 誠也**  
株式会社ビルサービス 取締役係長

いしい あきひこ  
**石井 聡彦**  
八光建設株式会社 工務課長

あんどう まさしげ  
**安藤 礼重**  
安積國造神社 権禰直

はしもと げんや  
**橋本 源矢**  
株式会社橋本産業 営業

あべ まさき  
**阿部 将来**  
株式会社冷暖 取締役

すずき みつはる  
**鈴木 光晴**  
BAR SUITS 店長

わたなべ みゆき  
**渡邊みゆき**  
ごったにエンタープライズ プロデューサー

いまいずみ よしあき  
**今泉 佳顕**  
株式会社郡山第一ビル 専務取締役

くろだ いるる  
**黒田 いるる**  
株式会社郡山第一ビル 代表取締役社長

## SNSによる情報発信も行っています。

Instagram QRコード

Twitter QRコード

Facebook QRコード

Twitter QRコード